

## 第50回九州学生陸上競技選手権大会

# 競技注意事項

### 1. 競技規則について

本競技会は、2022 年度日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告及び展示物に関する規程、本競技会の競技注意事項及び申し合わせ事項により実施する。

### 2. 練習について

別記3【第50回九州学生陸上競技選手権大会の競技場練習について】を参照すること。

### 3. 競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキングを行う。

#### アスリートキット

(1)競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

○上衣 下衣〔それぞれ〕

・製造会社名/ロゴ: 一箇所 40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm) ・スポンサー名/ロゴ: 一箇所 40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm)

・所属団体名/ロゴ、学校名/ロゴ \*学校名/ロゴに関しては、上衣(前後)・下衣 大きさの規制なし

(2)競技者が着用するその他のキットや衣類(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラスなど)

・製造会社名/ロゴ: (一つに)一箇所 6cm<sup>2</sup>まで(高さ3cm)

・学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ: 一箇所 大きさを問わない

#### 個人の所有物およびアクセサリー

(1)タオル バッグ

・製造会社名/ロゴ: 一箇所 40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm)

・スポンサー名/ロゴまたは競技者名/個人者ハッシュタグ: 二箇所 40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm)

\* バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち一箇所を以下に変更できる

学校名/ロゴ: 一箇所

〔学校名/ロゴ〕 大きさの規制なし

(2)飲料ボトル

・アスリートスポンサー名/ロゴ: 二箇所 40cm<sup>2</sup>まで(高さ5cm)

\* ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと

### 3. 競技場使用の注意

- (1)新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、声を出しての応援、長距離種目のタイム読みは固く禁止する。
- (2)更衣室とシャワールームの使用を許可する。男子は北ロッカールーム、女子は南ロッカールームを使用すること。但し、長時間の利用・私語を厳禁とする。
- (3)メインスタンドでの部旗・横断幕の掲出は禁止とする。  
バックスタンドでの掲出は認めるが、解放時間は3日間を通して開門後とする。掲出の際は必ず紐のみを使用し、ガムテープ等の使用は禁止する。
- (4)ゴミ袋を学校受付の際に配付するので、清掃を徹底し、**ゴミは各大学が責任を持って持ち帰ること。**
- (5)大会当日中の大学ごとの場所取り、スタンドの使用及びコーチングエリアについては、「3. 競技場使用の注意(15)」「15.入退場口・招集所・コーチングエリア・競技場諸室について」を熟読すること。
- (6)開門前、閉門後に許可なく競技場内、スタンド内に侵入している大学を発見した場合、厳重に注意し、その大学の以降の出場を認めない場合がある。
- (7)駐車は係員の指示に従い、久留米総合スポーツセンター内の駐車場またはリバーサイドパークの宮ノ陣橋下駐車場駐車にすること。ただし、バスなどの大型車については敷地内で乗り降りのみを行い、駐車場は、各自で確保すること。駐車しない車は混雑を避けるため、駐車場への侵入を禁止する。
- (8)競技場は全天候舗装型であるため、使用するピンの長さは7mm以下、走高跳・やり投については9mm以下とする。
- (9)当該競技の出場者以外はトラック・フィールド内に立ち入ってはならない。注意に従わない場合、同校の競技の出場を認めない場合がある。
- (10)医務室、救護室は競技場内に設ける。なお、大会期間中において起こった怪我に対しては主催者側が応急手当を行うが、それ以降の治療に対しては一切責任を負わない。ただし、出場者は原則として、スポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。必ず保険証のコピーを持参すること。なお、新型コロナウイルス感染症はスポーツ安全保険の適用対象外である。
- (11)メインスタンド1Fの競技場内通路は関係者以外の進入を禁止する。ただし、混成競技室と更衣室を使用する際は一部通行を認める。
- (12)スパイクで競技場内通路を通行することは厳禁とする。
- (13)貴重品の管理は各大学および各個人で責任を持って行うこと。盗難・紛失について主催者は一切責任を負わない。拾得物があった場合については、インフォメーション・センターにて一時保管する。
- (14)開閉門時間は以下の通りである。ただし、予告なく変更する場合がある。また、以下の記載開門時間より早く競技場内には立ち入らないこと。

期 日	開門時間	閉門時間
9月23日(金)	9:00	18:00
9月24日(土)	8:00	19:00
9月25日(日)	8:00	17:30

(15)場所取りについては以下のとおりとする。

- ・場所取りをしてよいのは、サイドスタンド、バックスタンド及び陸上競技場外の駐車場周辺の木陰とする。
- ・バック、サイドスタンドについて、テントは使用禁止とし、全て荷物は日ごとにすべて持ち帰ること。また、23日より前に場所取りすること禁止とする。日ごとに場所取りに使うマーカーや養生テープ等を全て剥がし、入場前と同じ状態にすること。また、清掃を各自行うこと。
- ・競技場外の木陰について、23日より、場所取り及びテント立てを行ってよい。また、マーカー等で場所の確保を行ってよい。場所取りは25日の大会終了までとし、マーカーは日ごとに回収する必要はない。ただし、日ごとにマーカー以外の荷物はすべて持ち帰り、スポーツセンターの利用者に配慮した場所取りをすること。杭やロープ、火の使用など、競技場利用者や樹木等を傷つける可能性のある行為を避けること。
- ・違反・注意に値する大学には連絡をする場合があるので、指示に従うこと。
- ・場所取りに関してトラブルがあった場合、本連盟に必ず連絡すること。また、荷物の盗難や紛失に関して、本連盟は責任を負わないため、各自確実に管理すること。
- ・場所取りに関して、重大な違反や指示に従わない場合、対象大学の本大会及び今後の大会参加を認めない場合がある。また、上記の荷物の日ごとの持ち帰りを行わなかった場合、対象の荷物を没収することがある。

#### 4. 招集について

(1)招集所は、第1コーナー外側(400mスタート側ゲート)に設置する。

(2)招集の方法について

※競技者は出場種目の招集開始時刻になり次第、招集所でシューズ、スパイク、ナンバー、商標の確認を受けること。(シューズに関しては、競技注意事項別記1「靴底の厚さに関するルール改定」を必ず確認すること。)

・スタート地点到着後に、各競技現地で最終コールを行う。

(3)代理人による招集は認めない。ただし、他の種目と招集時間および競技時間が重複する場合は、招集所に重複届を提出すること。重複届は招集所にて配布する。

(4)混成種目の招集は2日間とも最初の1種目のみ招集所で行う。以降の種目については現地にて招集を受けること。混成競技者控室については男子を【北ロッカールーム】、女子を【フィットネスルーム】に設ける。

(5)リレーのオーダーについては、メンバーおよびオーダーの変更の有無に関わらず、ラウンド毎にオーダー用紙(インフォメーション・センターに用意)をインフォメーション・センターと招集所の2カ所に提出すること。提出締切は招集完了時刻の1時間前とし、遅れた場合出場を認めない。怪我等によるこれ以降の変更は、主催者の任命した医務員の判断がない限り認められない。また、招集開始時刻になり次第、全員で招集を受けること。

(6)商標については、陸上競技ルールブック2022「競技会における広告および展示物に関する規程」に従い、招集所にてチェックを行う。詳しくは「3. 競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について」を参照すること。

(7) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場を認めないので十分に注意すること。

(8) 招集時間は競技日程を参照すること。

	トラック種目	棒高跳	その他フィールド種目
招集開始時刻	競技開始40分前	競技開始90分前	競技開始60分前
招集完了時刻	競技開始30分前	競技開始80分前	競技開始50分前

(9) 競技場内において競技者は助力と見なされるビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD・MDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話、スマートフォン、もしくはそれに類似するものを使用する、または所持することも禁止する。勧告を受け入れられない場合は失格となる。なお、その他競技者に対する助力についてはTR6を適用する。

## 5. 欠場について

競技参加者の欠場については、大会の運営の円滑を期するため極力避けること。やむを得ず欠場とする場合は以下の要領で申し出ること。

- (1) 9月19日までに欠場が判明している場合は、本連盟ホームページより不出場届をダウンロードし、必要事項を記入の上、9月19日(月)23:59までに本連盟へFAXで送付すること(郵送は不可)。
- (2) 上記期日以降にやむを得ず欠場となる場合には、不出場届(インフォメーション・センターに用意)に必要事項を記入の上、招集所とインフォメーション・センターの2カ所に提出し、承認を得ること。なお、この手続きを行えば、その競技者は以降の競技に出場できる。
- (3) 無断棄権に関しては、以後の大会の出場を認めないなどの厳しい処分を課す場合がある。

## 6. アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) アスリートビブスは2022年度九州学連指定の登録アスリートビブスを着用すること。
- (2) アスリートビブスはユニフォームの胸と背に確実につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手は、胸・背のいずれかにつければよい。アスリートビブスの折曲げは禁止する。
- (3) トラック競技は写真判定機を使用するため、トラック競技者は主催者の用意する腰ナンバーカードを右腰やや後方に、数字が見えるようにつけること。ただし、男女3000mSC、男女5000m、男女10000m、男女10000mW、男女4×400mRについては両腰につけること。腰ナンバーカードは使い捨てのものを使うが、長距離種目のみ布ゼッケンを使うため、フィニッシュ後、係員に返却すること。長距離種目以外の腰ナンバーカードは、係員に返却する必要はない。

## 7. 競技の抽選・番組編成について

- (1) トラック競技の準決勝以降の組み合わせは、主催者が公平に抽選し、決まり次第招集所および速報サイト(本プログラムP.39)に掲載する。記録掲示板には掲示しないので注意すること。
- (2) トラック種目における次のラウンドへのプラス選出の際に、同記録が複数出た場合、写真判定により1000分の1秒まで拡大し、「着差あり」まで判定する。それでも判定できない場合には、本人または代理人によって公平に抽選を行い、決定する。ただし、1500m、3000mSCの場合は該当者全員が次のラウン

ドに進出できる。※TR20.8を参照のこと。

(3)写真判定機故障の場合、その種目の当該ラウンドを全組、手動計時に変更する場合がある。

## 8.トラック種目について

(1)不正スタートに関しては、競技規則TR16の6,7,8の適用により失格とする。

(2)スタートの合図は ”On Your Marks”、”Set” で行う。

(3)短距離種目では競技者の安全のため、フィニッシュ後も自分のレーンを走ること。

(4)リレー種目について

①各大学同一のユニフォームを着用すること。この時、デザインが同じものを着用すれば、スパッツ、ランニングパンツの区別は設けない。

②全ラウンドにおいて、最初に編成して申し込んだメンバーの中から最低2名は出場しなければならない。それ以外の2名はプログラムに記載のある選手であれば、予選ラウンドから出場できる。

③次ラウンドにおける交代は2名以内でなければならない。なお、出場チーム数の都合上、単一ラウンド(決勝のみ)となった場合、次のラウンドに進んだものとする。※TR24参照

④4×100mリレーに使用するマークテープは本連盟が用意したものを使用すること。主催者側のものを使用することができるが、各自で用意してもよい。その際は、TR24のマーカの大きさの規則に注意すること。

(5)男子5000mについてはタイムレース決勝とする。

(6)男女10000m、男女10000mWについては、給水を設置する。また、男女5000mについては、気象条件により設置する場合がある。

(7)男女5000m、男女10000m、男女10000mWについては下記の設定時間でゴールに達しない選手は競技者がどの段階にあっても速やかに競技を中止させる。

男子		女子	
5000m	18'00"	5000m	21'00"
10000m	37'00"	10000m	42'00"
10000mW	55'00"	10000mW	65'00"

(8)男女5000m、男女10000mについては当日の状況を見て、インレーン、アウトレーンへの振り分けを行う。役員の指示に従うこと。

(9)男女5000m、男女10000m、男女10000mWについてはフィニッシュの際に、4レーンより外側のレーンでゴールすること。

(10)男女3000mSCについてはランニングシューズでの出場は認めない。

## 9.フィールド種目について

(1)跳躍種目のバーの上げ方は原則として以下の通りとする。

種目・種別	練習	バーの上げ方
-------	----	--------

走高跳	男子	1m80、2m10	1m75-(5cm刻み)-2m10-(3cm刻み)
	女子	1m40、1m60	1m35-(5cm刻み)-1m65-(4cm刻み)-1m69-(3cm刻み)
	十種	1m45、1m85	1m50(5cm刻み)-1m90-(3cm刻み)
	七種	1m15、1m50	1m20-(5cm刻み)
棒高跳	男子	3m90、4m40	3m80-(10cm刻み)
	女子	2m70、3m30	2m50-(10cm刻み)
	十種	2m80、4m00	2m30-(30cm刻み)-3m20-(20cm刻み)-3m80-(10cm刻み)

※同成績の場合は競技規則TR25.22を適用する。

- (2)走高跳・棒高跳の練習の高さは当日、選手と審判員の協議により設定する。また、悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・本学連の協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。
- (3)走幅跳は、男女ともに2ピットで競技を行う。ただし、女子走り幅跳は状況に応じて1ピットに変更する可能性がある。
- (4)男子三段跳 2ピット(ともに 13m)、女子三段跳は 1ピット(ともに 10m)で行う。ただし、女子三段跳は状況に応じて 2ピットに変更する可能性がある。
- (5)U20 規格の種目については各種目、一般規格と同時進行で競技を進め一般・U20ともにそれぞれトップ 8 を選出して決勝ラウンドを行う。
- (6)試技時間は以下のとおりとする。

#### 単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	<u>1分</u>	1分	<u>1分</u>
2～3人以上	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の試技

※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が2人以上、同一の高さのみ適用する。

#### 混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	<u>1分</u>	1分	<u>1分</u>
2～3人以上	1分30秒	2分	1分
1人または連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の試技

※残っている競技者に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

#### 10. 混成競技について

- (1)招集は、各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以降の招集は現地にて行うので、次の競技まで混成競技者控室にて待機し、競技役員の指示に従って行動すること。
- (2)混成競技者控室として男子が【北ロッカールーム】、女子が【フィットネスルーム】を使用する。該当種目の競技者及び競技役員以外の混成競技者控室への立ち入りは一切禁止とする。
- (3)1日目の競技終了後、混成競技者控室から全ての荷物を持ち退出すること。
- (4)跳躍種目は1ピットで行う。

## 11. 表彰について

- (1)各種目 3 位までに入賞した選手に表彰を行う。各種目の終了後に案内を行うので、役員の指示に従うこと。入賞者が集合できない場合は、代理人を出すこと。
- (2)表彰時の服装は、上は各大学公式の服装とする。
- (3)閉会式において、成績の優れた男女 1 名ずつを最優秀選手として表彰し、最優秀選手賞としてトロフィーを授与する。
- (4)表彰式の実施については、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更することがある。

## 12. 用器具について

- (1)用器具はすべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用のポールについては、競技場備え付けのものがないため、個人のもを持参すること。さらに、やり、円盤、砲丸、ハンマーについては、検定を受けて合格したものは、個人のもを使用してよい。各自が持ち込んだ棒高跳用のポール及びやり、円盤、砲丸、ハンマーについては、その他の競技者にも使用させなければならない。そして、持参した棒高跳用のポール及びやり、円盤、砲丸、ハンマーは、競技当日の招集開始時刻から招集完了時刻までに 100m スタート付近の用器具倉庫にて検査を行う。ただし、使用の際の破損などによる事故発生の場合、使用した当該競技者が責任を負うものとする。この場合、主催者はその責任を負わない。
- (2)新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、滑り止め(炭酸マグネシウム)については、共有しない方法で実施する。そのため、主催者は、滑り止め(炭酸マグネシウム)を用意しない。競技者は必要に応じて必ず滑り止め(炭酸マグネシウム)を持参し、使用すること。なお、松ヤニの使用は禁止する。
- (3)投てき器具については共用となるので、終了後の手洗い・洗顔を行う。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう注意すること。

## 13. 抗議について

- (1)抗議はTR8に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから30分以内に、次のラウンドが行われる種目ではその結果が発表されてから15分以内に競技者自身または代理人が総務に申し出る。
- (2)審判長の裁定不服の場合には、その競技者に代わる責任者より上訴申立書と預託金(10,000円)を添えて、正式な手続きをとる。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合、没収される。

## 14. 各書類提出先について

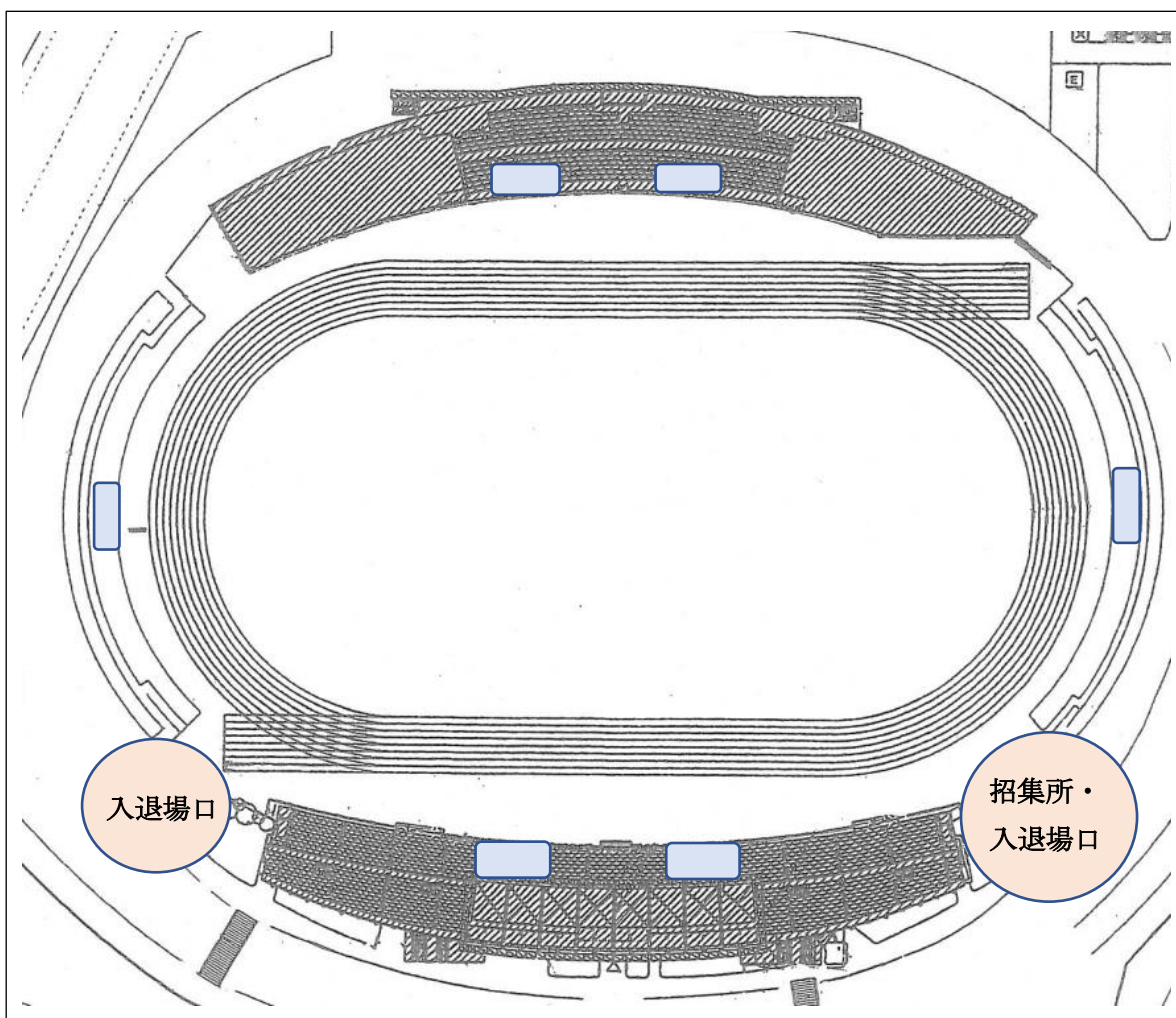
書類名	配布場所	提出先・依頼先
不出場届	インフォメーション・センター	招集所及びインフォメーション・センター
重複出場届	招集所	招集所
リレーオーダー用紙	インフォメーション・センター	招集所とインフォメーション・センター
記録証明書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
上訴申立書	学連本部(要預託金)	学連本部(要預託金)

### 15.入退場口・招集所・コーチングエリア・競技場諸室について

以下の図のように配置する。

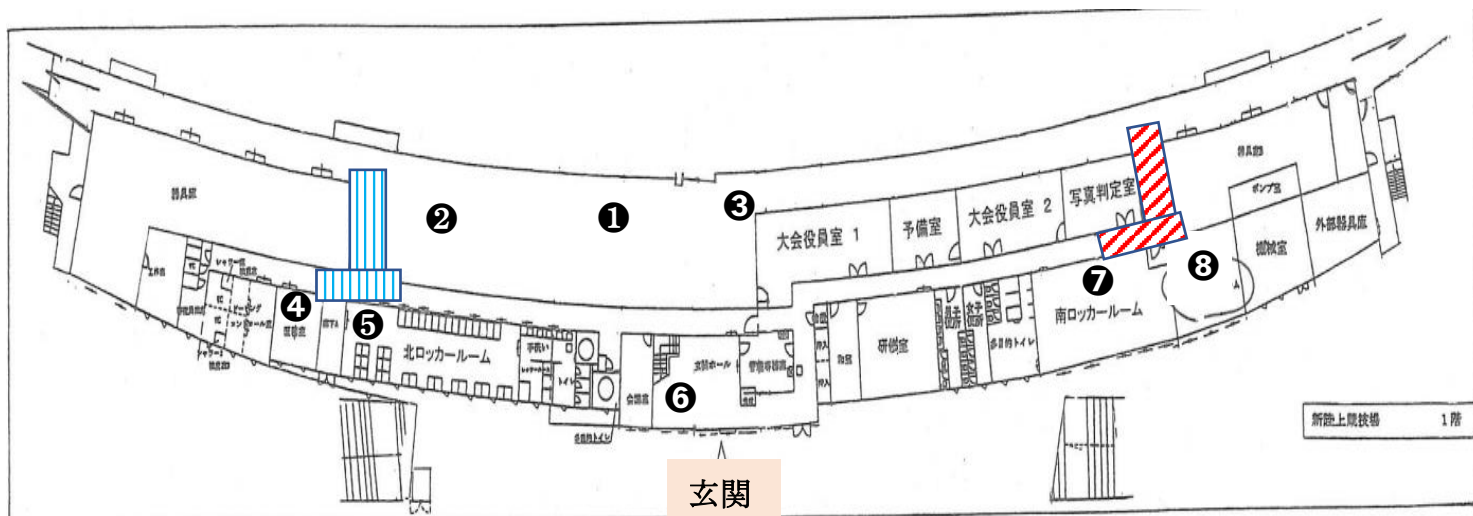
【全体図】 ※下側がメインスタンド側

コーチングエリアを、図のように6か所設ける。当日はテープで規制する。





## 【競技場内諸室】



- ①大会本部 ②代表者会議、代表委員総会実施場所
- ③表彰待機場所 ④医務室 ⑤北ロッカールーム(男子混成競技控室兼男子更衣室)
- ⑥インフォメーション・センター(玄関中) ⑦南ロッカールーム(女子更衣室)
- ⑧フィットネスルーム(女子混成控室)

原則玄関から諸室に入ることは禁止する。以下の場合、通行を許可し、役員が案内する。役員の手指示に従うこと。

- ・抗議・質問がある場合
- ・代表者会議・代表委員総会に出席する場合
- ・表彰がある場合(表彰される本人のみ)
- ・医務室に行く場合
- ・インフォメーション・センターに問い合わせがある場合
- ・その他、役員の手指示があった場合

また、図の④医務室側のストライプの部分は、競技場内から、医務室、北ロッカールームに入る際、通行してよい。同様に、⑦南ロッカールーム側の斜線の部分は、南ロッカールームまたはフィットネスルームに入る際、競技場内から通行できる。

## 16. その他

- (1) 記録証明書を希望する競技者は、300円を添えてインフォメーション・センターまで申し込むこと。
- (2) 競技場内での写真、ビデオの撮影については選手のプライバシー及び肖像権を保護するため大会関係者及び主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。盗撮防止のため、大会役員が声をかけることがあるが、その場合は速やかに許可証を提示すること。また、許可なく撮影している者を発見し次

第、嚴重に処分する。

- (3)新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、練習及び招集、競技中など本大会に関わるすべての行為について、競技者への付き添いを禁止する。
- (4)競技結果等は記録処理終了後に随時、本プログラム P.39 に掲載する大会速報サイトにて発表を行う。記録掲示は行わない。
- (5)主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を厳守し、個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の参加審査、プログラムの編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (6)ボールの返送について  
返送は個人、またはチームで行うこと。本連盟は返送手続きに関与しないが、大会期間中、競技場内でチームでのボールの保管が難しい場合、保管場所の提供をするので、インフォメーション・センターに問い合わせること。
- (7)加盟校は学生審判補助員を派遣しなければならない。

**※以上の内容以外でも、特別に役員から指示があった場合必ず従わなければならない。**

- (8)新型コロナウイルス感染症の状況により、競技注意事項ならびに競技運営方法に変更が生じる場合がある。

(別記1)

競技注意事項  
靴底の厚さに関するルール改定

WA のルール改定に伴い、本連盟主催競技会についても以下に示す基準を満たしていないシューズを身に  
着ける競技者の出場を認めない。

種目	ソールの最大の厚さ (TR5.5、注意(i)、(ii)、(iii)及び TR5.5 の図(a)並びに(b) TR5.13.3 に基づく)	補足
800m 未満のトラック種目 (ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が 適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が 適用される。
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳 を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィー ルド種目において、競技者の前の部分の中 心点のソール厚さは、競技者のかかどの中心 点のソール厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	競技者の前の部分の中心点のソール厚さ は、競技者のかかどの中心点のソール厚さを 超えてはならない。

TR5.13 注意

- (i) 規則(TR5)13(a)の「1 つの剛性プレートまたはブレード」は、複数のパーツで構成される場合があるが、それらのパーツは、平行ではなく(例:個々のパーツは互いに上に積み重ねない)、1 つの平面に連続して配置しなければならない。※現行のルールブックに掲載の内容と変更なし。

(別記2)

競技注意事項

第50回九州学生陸上競技選手権大会の入場規制について

本大会は、日本陸連のガイドライン及び以下に則り入場規制を実施する。熟読すること。

【スタンド入場可能者について】

本大会は、**有観客**開催とする。ただし、大学関係者(選手・監督・コーチ・チームスタッフ・学生審判補助員)と観客(保護者やOBOGを含む)では入場可能なスタンドが異なるため、下の図を確認すること。

・大学関係者(選手・監督・コーチ・チームスタッフ・学生審判補助員)

→全スタンド(メイン・サイド・バック)入場可能とする。検温所はB、入退場口はB、E、5、8、10となる。

・観客

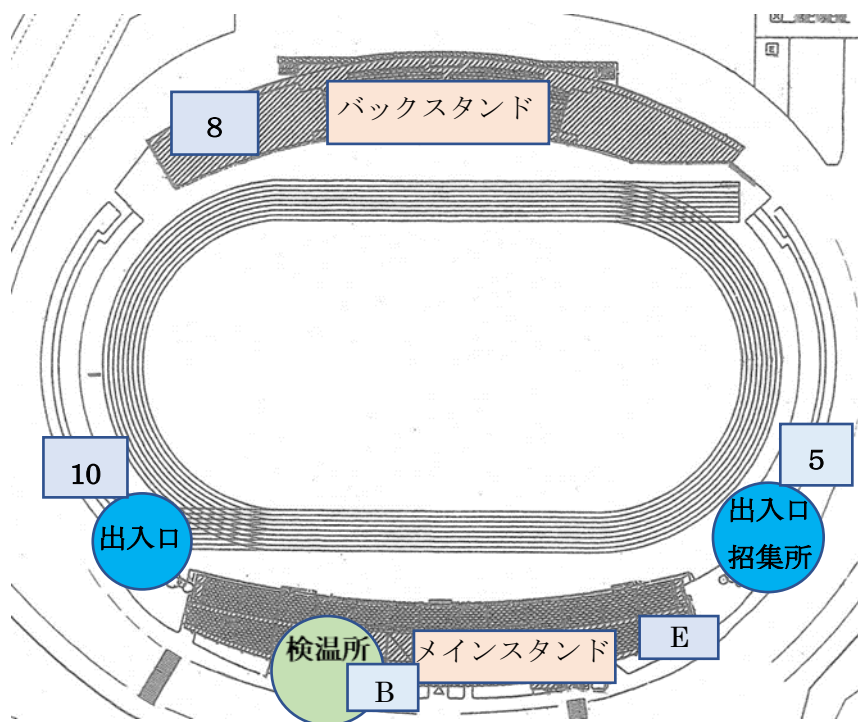
→バックスタンドとサイドスタンドのみ入場可能とする。検温所兼入退場口は5、8、10となる。メインスタンド及び競技場内(出入口)は入場できない。

【大会当日の入場方法について】

※大会要項別記1「新型コロナウイルス感染症への留意点」も確認すること。

・大学関係者は下図B地点検温所にて検温を行い、Google フォームによる体調申告の完了画面を提示することで、入場許可証のネームプレートを渡す。

・観客は下図5、8、10にて検温、Google フォーム提示を行うことで、入場許可証のリストバンドを渡す。



(別記3)

競技注意事項

第50回九州学生陸上競技選手権大会の競技場練習について

- (1)ウォーミングアップ及び練習は、補助競技場を利用すること。前年度大会は本競技場での練習を認めていたが、今大会では本競技場を使用することはできないので注意すること。
- (2)練習場の使用については、すべて競技役員の指示の従い、安全に留意すること。
- (3)補助競技場に入場する際は、必ず本連盟配布のネームプレートを持参・掲示すること。
- (3)補助競技場の利用可能時間は以下のとおりとする。

なお、補助競技場に関して、以下に示す時間以外でも、個人利用をすることができる。

日付	補助競技場
9月23日(金)【大会1日目】	9:00～18:00
9月24日(土)【大会2日目】	7:30～18:00
9月25日(日)【大会3日目】	7:00～17:00

- (4)9月22日の練習について

本競技場および補助競技場の使用を許可する。役員の指示に従うこと。

※本競技場については、15時～17時半の間のみ利用できる。

補助競技場について、9月22日は本連盟の占有利用でないため、本大会以外の利用者も補助競技場を利用する。安全とマナーに特に気を付けること。

- (5)陸上競技場について

- ①陸上競技場における練習については左回りとし、トラック内での逆走は禁止する。
- ②ハードルの使用については、110mHは8レーン、100mHは7レーン、男子400mHは6レーン、女子400mHは5レーンを使用すること。その他のレーンでハードルを使用することは禁止する。
- ③スターティングブロックを使用する際は周りに注意を払い、安全に注意すること。
- ④競技場内での密による感染拡大防止、また事故防止のため、**当日に競技が行われる種目の練習を優先し、役員の指示に従い、安全に留意して行うこと。**
- ⑤トラックにおいて、牽引ロープ及びミニハードル等の用具を使用する練習は禁止とする。

- (6)投てきの練習について

- ①公式練習については、投てき審判の指示に従い、競技開始前に行うこと。
- ②助走練習、投てき練習時には、ソーシャルディスタンスを確保するために、競技役員が1人ずつ順番に呼び出す。
- ③新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、滑り止め(炭酸マグネシウム)については、共有しない方法で実施する。そのため、主催者は、滑り止め(炭酸マグネシウム)を用意しない。競技者は必要に応じて必ず滑り止め(炭酸マグネシウム)を持参し、使用すること。なお、松ヤニの使用は禁止する。

## 第50回九州学生陸上競技選手権大会 【体調申告フォーム】

入場の際にフォームの回答が必要となる。回答は本連盟 HP や、競技場内の QR コードからも回答できる。

・23日入場用

選手・監督・コーチ・チームスタッフ・学生審判補助員用

<https://forms.gle/Z5QZmJM5ydy6N4o38>



・23日入場用

観客用

<https://forms.gle/2cctcazrUbFw5YRGA>



・24日入場用

選手・監督・コーチ・チームスタッフ・学生審判補助員用

<https://forms.gle/eFiXC57rpDJyfmJj8>



・24日入場用

観客用

<https://forms.gle/KVgGML2ZJnFsW5Ys6>



・25日入場用

選手・監督・コーチ・チームスタッフ・学生審判補助員用

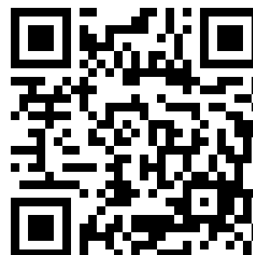
<https://forms.gle/oMywKRtdkCHCeURT9>



・25日入場用

観客用

<https://forms.gle/edWJBHexrxE3bxaC9>



【ライブ配信 URL】

九州長距離王国さまの YouTube チャンネルの URL と QR コードです。

<https://www.youtube.com/channel/UC05FpUrDLtgfWaP41TDZvJQ>



【九州学連 HP】

<http://www.kyu-athi.sakura.ne.jp/>



【九州学連 Twitter】

[https://twitter.com/kyu\\_athi](https://twitter.com/kyu_athi)



【九州学連 Instagram】

<https://www.instagram.com/kyu.athi/?igshid=YmMyMTA2M2Y%3D>

